

大阪スマートシティ戦略 ver.2.0 【概要】

- 大阪府及び大阪市では、「豊かで利便性の高い都市生活」を未来像とする副首都の実現と、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博を成功に導くことなどを背景に、「住民のQoL向上」を最大目標に掲げた、『スマートシティ戦略ver.1.0』を2020年3月に策定。
- 今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う新しい生活様式や国のデジタル政策の強化等、同戦略策定後におけるスマートシティを取り巻く環境の変化を踏まえ、これまで進めてきた取組みを土台に、大阪・関西万博に向け、イノベーションを加速させていくため、「大阪スマートシティ戦略ver.2.0」を策定。

『大阪スマートシティ戦略 ver.1.0』（2020年3月）

- スマートシティを取り巻く環境の変化**
- ▶ 新型コロナウイルスの課題とデジタル改革の動向
 - ▶ 大阪のスマートシティ第2ステージに向けた優位性と機会

- ▶ 世界のデジタル化に向けた潮流
- ▶ デジタル技術の進展と実装
- ▶ デジタル化による SDGs 達成への貢献

基本理念

『大阪スマートシティ戦略 ver.2.0』（2022年3月）

戦略ver.1.0の理念

- 住民が実感できるかたちで、「住民の生活の質（QoL）の向上」をめざすことが主目的
- 「技術実験」に留まらず、「社会実装」のための取組を蓄積
- 公民連携による「民間との協業」が大前提*

* 戦略ver.2.0では「公民共同エコシステムの構築」にリニューアル

新たに追加する理念

- 新型コロナ感染症に伴う生活様式の変化
→コロナ禍を踏まえた「都市免疫力の強化」
- 国による強力なデジタル改革の推進
→デジタル原則を踏まえた「国のデジタル政策を先導する取組み」
- 社会課題・地域課題の解決がビジネスマーケットとして急速に拡大
→「公民共同エコシステムの構築」

役割

- 大阪府はパートナーズフォーラムやデータ連携基盤などのインフラ構築と、市町村DX支援などにより、府域のDXを推進。
- 大阪府は大阪府と連携した先導役として、府内市町村の行政DX推進をリード。



取組体系

